

カトリック葛西教会 Kasai Catholic Church

復活節第2主日 Second Sunday of Easter

信じない者ではなく、信じる者になりなさい(ヨハネ 20・27)

Doubt no longer, but believe (Jn 20:27)

〒134-0083 江戸川区中葛西 1-10-15

1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo

Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449

<http://kasaicc.net/>

主日のミサ

土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)

日曜日 Sun. 10:00am (日本語) & 4:00pm (English)



府中墓地墓参のご案内

今年も4月29日(祝・緑の日)に府中共同墓地への墓参を行います。今回は、

マリア・マルタ 山川 陽子さん

マリア・アスンタ 石川 真弓さん

マリア・マザレロ 田川 晴子さん

磯藤 禎教さん

マリア・インマクラータ 磯藤 夏樹さん

ヨハンナ 山根 和子さん

5体の納骨式が執り行われます。

10時現地集合、10:30~ミサとなります。

5月は月です

5月7日(喜び) 南葛西, 市川・行徳地区

世界の平和の為に カ 307 番

5月14日(苦しみ) 江東, 中・東葛西地区

小さな人々への慈しみの為に カ 322 番

5月21日(栄) 清新町, 松江・船堀地区

司祭の召命の為に 典 407 番

5月28日(光) 浦安, 北・西葛西地区

葛西教会共同体とご家族の為に カ 314 番

ヨハネ松尾太助祭の司祭叙階式のご案内

日時: 2017年4月22日(土) 11:00am

場所: カトリック城山教会聖堂(長崎市)

司式: 高見三明大司教

おめでとうございます。

聖書勉強会

聖書勉強会を原則毎月第4日曜日のミサ後11:30より小聖堂で行います。4月は30日(日)です。たくさんの方の参加をお待ちしています。(宣教部:シスター植木)

Kasai Church 50th Anniv. Preparation Committee

Contribution for church's 50th Anniversary totals **13,740,872 yen**. Thank you for your understanding and continued support and prayer.

Tagalog Na Misa

Tuwing unang Mierkules ng bawat buwan ay magkakaroon ng Tagalog na Misa (alas 10:30 sa umaga). **May 3** ang Mierkules sa mga darating na buwan. May kumpisal at novena din sa mga ganoong araw.

献堂 50周年記念事業第6期(1月~7月)献金報告

2017年第6期報告(3月末現在)

申込者数: 52名(目標: 200名)

献金合計: 827,905円(目標: 3,000,000円) 1期からの合計は 13,740,872円です。今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。ご質問などありましたら本橋俊和・佐藤隆一にお聞きください。

ウルスラ修道会でのミサ

これからの予定は、4月27日(木)、5月18日(木)、6月15日(木)です。おいしいランチと祈りのひと時をご一緒に。皆様ご参加下さい。

50周年ロザリオの祈りの報告(2017年分)

3月は14名 132環で、累計35名 390環です2017年も3,000環が目標です。よろしくお願ひ致します。

(50周年委員会)

共同祈願の祈り

主は私たちの救いの、
ために復活された。

その他今後の予定

- 04月23日(日) 復活節第2主日
- 04月29日(土) 共同墓地納骨式・ミサ (10時30分～)
- 04月30日(日) 復活節第3主日
- 05月03日(水) Tagalog Na Misa
- 05月07日(日) 復活節第4主日

今週の掃除は4月29日(土)
青年部です。皆さまご参加ください。
This Week's Church Cleaning Duty April 29nd Saturday
Youth- Group

掃除当番の方々へ：トマスホールの椅子は、体の不自由な方が通れるように聖堂との境からタイル**2枚分(約60cm)**あけて並べて下さい。

献堂 50 周年記念事業準備

葛西教会は2019年に松江教会から数えて50年を迎えます。老朽化した建物の内装・配管・照明・音響などさまざまな課題を踏まえ、心を一つにして準備作業を行いたいと思います。ご協力をお願い致します。

『復活節第2主日』A年 (神のいつくしみの主日)

今日の福音 ヨハネによる福音 (20 : 19 - 31)

その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。そう言って、手とわき腹とをお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」

十二人の一人でディディモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。そこで、ほかの弟子たちが、「わたしたちは主を見た」と言うと、トマスは言った。「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をそのわき腹に入れてみなければ、わたしは決して信じない。」さて八日後、弟子たちはまた家の中におり、トマスも一緒にいた。戸にはみな鍵が掛けてあったのに、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。

それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」トマスは答えて、「わたしの主、わたしの神よ」と言った。イエスはトマスに言われた。「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。」

このほかにも、イエスは弟子たちの前で、多くのしるしをなさったが、それはこの書物に書かれ

ていない。これらのことが書かれたのは、あなたがたが、イエスは神の子メシアであると信じるためであり、また、信じてイエスの名により命を受けるためである。

聖書新共同訳より引用

A Reading from the Holy Gospel according to John (20 : 19-31)

Happy those who believe without seeing

In the evening of that same day, the first day of the week, the doors were closed in the room where the disciples were, for fear of the Jews, Jesus came and stood among them. He said to them, "Peace be with you," and showed them his hands and his side. The disciples were filled with joy when they saw the Lord, and he said to them again, "Peace be with you. As the Father sent me, so am I sending you." After saying this he breathed on them and said: "Receive the Holy Spirit. For those whose sins you forgive, they are forgiven; for those whose sins you retain, they are retained."

Thomas, called the Twin, who was one of the Twelve was not with them when Jesus came. When the disciples said, "We have seen the Lord," he answered, "Unless I see the holes that the nail made in his hands and can put my finger into the holes they made, and unless I can put my hand into his side, I refuse to believe."

Eight days later the disciples were in the house again and Thomas was with them. The doors were closed, but Jesus came in and stood among them. "Peace be with you." Then he spoke to Thomas, "Put your finger here; look, here are my hands. Give me your hand; put it into my side. Doubt no longer but believe." Thomas replied, "My Lord and my God!"

Jesus said to him: "You believer because you can see me. Happy are those who have not seen and yet believe."

There were many other signs that Jesus worked and the disciples saw, but they are not recorded in this book. These are recorded so that you may believe that Jesus is the Christ, the Son of God, and that believing this you may have life through his name.

This is the Gospel of the Lord

【 福音朗読 】

八日の後、イエスが来られた

〔ヨハネ福音書で、復活したイエスが最初に弟子たちに姿を現す箇所。復活の日（つまり、ペトロたちが空の墓を見た日）の夕方 of 出来事と、それから一週間後の出来事〕

週の初めの日	安息日の翌日で、今日の日曜日にあたる。
平和があるように	ヨハネ 14 : 27 で「平和を与える」と約束されていた。
手とわき腹	十字架に釘づけられた傷のある手、槍で刺し貫かれたわき腹。
息を吹きかけて	創世記 2 : 7 参照。聖霊を与えることを表す動作。なお、聖霊を与えられることも最後の晩餐の席で約束されていた（ヨハネ 14 : 16-17 他）
だれの罪でも……	マタイ 16 : 19、18 : 18 参照。
ディディモ	ギリシア語で「双子」の意味。「トマス」はアラム語で、やはり「双子」を意味する。
わたしの主、わたしの神よ	詩編 35 : 23 参照。
このほかにも……	本来のヨハネ福音書の結びのことばと考えられている（21 章は後で書き加えられた）。

< 拝領唱 > (ヨハネ 20 : 27)

「手を伸ばして傷跡に触れ、信じない者ではなく、信じる者になりなさい。アレルヤ。」

COMMUNION ANTIPHON (Jn 20 : 27)

Jesus spoke to Thomas: Put your hand here, and see the place of the nails. Doubt no longer, but believe, alleluia.